

Press Release

「Shibboleth IdP オプション」を機能強化した「AXIOLE v1.20」を発表

最新版の Shibboleth IdP V4 に準拠

Shibboleth IdP V2 以降で実装した様々なプラグイン等をアップデートし継承

株式会社ネットスプリング（本社：東京都港区、代表取締役社長：西武 進）は、LDAP ベースの認証アプライアンスサーバー「AXIOLE（アクシオレ）」の、主として学術教育研究機関向けのオプション機能「AXIOLE IdP オプション」に最新版の Shibboleth IdP V4 に準拠した新バージョン「AXIOLE v1.20」の提供を開始します。今回のバージョンアップでは、Shibboleth IdP V4 に AXIOLE IdP で実装済みの多要素認証機能他の各種プラグインも継承しています。新バージョンは、12月24日からダウンロードサイトにてファームウェアの提供を開始します。従来から IdP オプションのライセンスを購入済みのユーザーは、事前に V1.19 へのバージョンアップし、その後に V1.20 にバージョンアップすることにより IdP V4 準拠の IdP システムに更新されます。

AXIOLE IdP オプションは、全国の大学等と国立情報学研究所（NII）が連携して運用する「学術認証フェデレーション」（学認：GakuNin）の相互認証連携システム「Shibboleth」に対応し、異なる組織間でのシングルサインオンを可能にする IdP（Identity Provider）機能を提供しています。

多要素認証機能は Shibboleth IdP の最新バージョンである IdP V4 をベースに再実装し、AXIOLE の新バージョン V1.20 の IdP オプション機能として提供されます。

本バージョンのリリースと同時に、AXIOLE の IdP 機能のみに限定した「IdP 専用アプライアンスモデル」（外部認証参照のみ）、仮想アプライアンス版「AXIOLE-i」と Microsoft Azure 版「AXIOLE for Azure」およびアマゾン EC2 環境対応の「AXIOLE for AWS」にも同様の最新の IdP V4 準拠版が提供されます。

AXIOLE の IdP オプション（V1.19 以前）を利用中の組織においては、ファームウェアの更新に際して、IdP に関連する設定変更その他の作業が一部必要となります。また、ファームウェアの更新に際しては、AXIOLE V1.19 からのみ V1.20 への更新が可能となります。IdP オプション機能以外については、設定変更その他の作業は必要ありません。また、IdP V4 の導入に際して、SP（Service Provider）側の変更作業その他は一般的に不要です。

新バージョンとなった Shibboleth IdP オプションにより、AXIOLE は、国内参加機関数も 200 を越え本格的な普及期に入りつつある学認への参加や地域大学間連携機能、また、SAML 連携機能の本格運用へ向けて 2 段階認証機能（MFA）を有し、最新の IdP V4 に準拠、セキュリティ面においても安心して導入運用が可能なオールインワンの認証アプライアンスサーバーとして、今後も顧客ユーザーの期待やご要望に応じていきます。

■AXIOLE v1.20 の概要

☆IdP オプション（SAML 連携機能）関連

- Shibboleth IdP V4 に準拠
- 下記の AXIOLE IdP で実装済み機能を継承

- 条件同意機能 (uApprove 相当)
 - SP 簡易ポータルサーバー機能
 - FPSP 機能 (Filter Per Service Provider 機能。SP アクセスポリシー)
 - Office365 対応 (SAML 連携機能による SSO や ECP 対応)
 - 多要素認証機能 (MFA 機能)
 - IdP 認証で Azure AD を利用可能 (Azure AD の MFA 機能を利用可能)
 - IdP 認証機能の属性フィルタポリシーの最大登録数 100 に増加
- ☆IdP 関連を含めて OSS 関連の多くの改善や修正

■AXIOLE v1.20 への移行について

- AXIOLE V1.18 以前のバージョンから直接 V1.20 へのバージョンアップは出来ません。必ず V1.19 に更新後、各種設定を確認後に V1.20 にバージョンアップをお願いします。
- AXIOLE V1.19 の IdP から V1.20 の IdP への移行方法や設定変更等については、別途移行ガイドマニュアルを用意します。ユーザはファームウェアのダウンロードサイトから上記ガイドの利用が可能となります。

■AXIOLE v1.20 販売価格

- AXIOLE 500 ユーザー 95 万円 (AXS105 ハードウェアモデル:メーカー希望価格) より
本体および初年度のライセンス費用ならびに保守費用を含む
 - AXIOLE IdP オプション機能 一括ライセンス料金 60 万円より (エントリーモデル対象)
 - Shibboleth IdP 機能
 - ・ Shibboleth IdP V4 対応
 - ・ AXIOLE 1.19 までの実装済み機能を継承
 - AXIOLE IdP 専用アプライアンス 本体価格: 180 万円 (メーカー希望価格) より
本体および初年度のライセンス費用ならびに保守費用を含む
 - Shibboleth IdP 機能限定 (IdP オプション機能と同等)
 - ・ 外部認証データベース利用前提 (AXIOLE アカウントなし)
 - 仮想化アプライアンス版 (VMware vSphere 版) も提供
 - クラウド版 (Microsoft Azure 版・アマゾン EC2 AWS 版) も提供
- ※価格はすべて税別

AXIOLE 製品専用サイト: <http://www.axiole.jp/>

以上

【参考 1】AXIOLE 「IdP オプション」の主な機能

- 連盟“フェデレーション”内での Web 認証機能と Web アプリケーション間シングルサインオン機能
フェデレーションに参加することで、フェデレーション内の複数の Web アプリケーション (SP) をシングルサインオンで安全に利用できるようになります。
- Shibboleth 向け (GakuNin 推奨) 属性等の定義を標準提供
学術機関向けに、Shibboleth (GakuNin) 環境で利用されることの多い属性等を予め定義しており、職種、利用資格等の属性を AXIOLE の WebUI から編集することが可能になります。必要なメタデータ等のテンプレートが標準提供されます。
- 利用可能な Web アプリケーションの自動更新機能
フェデレーション内の Web アプリケーションが追加された場合、その情報は定期的に AXIOLE 内に取り込まれるため、自動的に新しい Web アプリケーションの利用が可能になります。
- Stored ID (persistent-id) の利用および管理
どこの Web アプリケーションからどのユーザーが IdP の認証を受けたかという識別情報を AXIOLE 内部で持続的に保持。IdP 認証時にこの Stored ID を送信することで、Web アプリケーション側においてユーザー単位で前回の情報を参照・自動復元等が可能。また Stored ID の検索・ダウンロード・削除等の管理機能が提供されます。
- 多要素認証機能 (MFA) が標準で実装されています。
- IdP 認証時において Microsoft Azure AD との認証連携が利用可能です。

●IdP ログ管理

AXIOLE の管理 WebUI で IdP ログの管理が可能。IdP による認証を受けたユーザー、Web アプリケーション、要求・応答の内容の参照や保存・転送等の管理が容易に行えます。

●IdP 機能の冗長化が可能

AXIOLE の冗長構成 (AXIOLE リダンダンシ構成) により IdP の冗長構成も可能に。

【参考 2】 AXIOLE の特長・機能、およびオプション機能について

- ・LDAP ベースの認証基盤を 1U のアプライアンス形態で提供
- ・スキーマ属性等 DB 設計が不要
- ・日本語 WebUI ベースの管理システムおよびエンドユーザー向け機能を提供
- ・RADIUS プロトコル (RADIUS プロキシ/eduroam) にも対応
- ・ActiveDirectory (AD) と ID 同期が可能
- ・AXIOLE 2 台による冗長構成が可能
- ・「LDAP スキーマオプション」
汎用的な LDAP 機能を提供 (有償)
- ・「G Suite (旧 Google Apps) 連携オプション」
AXIOLE と Google Apps 間の ID 同期機能を提供 (有償)
- ・「Shibboleth IdP オプション」
AXIOLE と Shibboleth の IdP(V4)連携機能を組込提供 (有償)
- ・「Microsoft Azure Active Directory (Azure AD) 連携オプション」
AXIOLE と Azure AD 間の ID 同期機能を提供 (有償)

【参考 3】 ネットスプリングのその他の主な製品

- ・eFEREC-1 / eFEREC-2 (統合エンドポイントアクセス制御装置) 新製品
eFEREC 製品専用サイト：<http://www.eferec.jp/>
- ・SSOcube (汎用型シングルサインオンアプライアンス)
SSOcube 製品専用サイト：<http://www.SSOcube.jp/>
- ・SmartSignOn for FEREC (スマートサインオン) iPhone/iPad 版および Android 版アプリ
SSO4F 専用サイト：<http://www.smartsignon.jp/>
- ・FEREC520 / FEREC720 / Center2 (Web 認証ゲートウェイ製品群) 全モデル生産販売終了
FEREC 製品専用サイト：<http://www.ferec.jp/>

※記載された会社名および製品名などは、該当する各社の商標または登録商標です。

【株式会社ネットスプリング 会社概要】

- ・本社所在地：東京都港区三田 3-12-16 山光ビル 2F
- ・代表者：代表取締役社長 兼 最高経営責任者 西武 進 (にしたけ すすむ)
- ・設立：2000 年 3 月
- ・資本金：2,000 万円
- ・事業内容：ネットワーク関連製品の企画・開発・販売
コンピュータネットワークに関するコンサルティング
- ・URL：<http://www.netspring.co.jp/>

※記載された会社名および製品名などは、該当する各社の商標または登録商標です。

一般読者からのお問い合わせ先：

株式会社ネットスプリング マーケティング部
TEL：03-5440-7337 E-mail：info@netspring.co.jp